



▲力を振り絞ってタッチ！ タイムは！？

第3回南丹市水泳大会を八木海洋センターで開催し、小学生13人、一般1人が参加。種目は自由形と平泳ぎで小学校4年生以下と5・6年生の男子の部、女子の部およびシニアの部でタイムを競いました。最年少参加者の吉富小学校1年生、佐々木海舟君も上級生に負けじと見事に25mを泳ぎきり、「スポーツクラブでも水泳を習っていてプールは大好き。頑張って最後まで泳げて楽しかった」と話してくれました。子どもたちは競技終了後も、今年最後のプールを満喫しました。

（9／4 第3回南丹市水泳大会）

「まつ黒に日焼けのボディーで力泳」

「望遠鏡が近づける宇宙との距離」

今年10周年を迎える西日本最大規模の天体観測イベント「星をもとめて」が、るり溪温泉ポテポテパーク一帯で2日間にわたって開催され、京都府内外から多くの天文ファンが集まりました。会場ではオーケストラの演奏やペットボトルロケットの打ち上げが行われたほか、望遠鏡工作教室では多くの親子連れがケプラー式望遠鏡を完成させました。この日は、雲の多い天候でしたが、自慢の望遠鏡を持ち込んだ参加者は天体の観測を楽しみました。



▲望遠鏡を作る親子ら

（9／19～20 第10回「星をもとめて」）

「息合わせキヤッチ！水面を疾走」



▲水面をすべるように進むナックルフォア

カヌーの体験や集団活動を通じて青少年の健全育成を図る「大堰川カヌー教室」が大堰橋から夢かなえ橋周辺で開催。8月19日には、5人乗り競技用ボート「ナックルフォア」の体験教室が京都ボートクラブの指導で行われ、市内の小学生ら約40人が参加しました。園部ロータリークラブから寄贈された競技用ボートの速さを体感する教室を昨年に続き開催。舵手の指示どおり水をキャッチするとぐんぐんスピードが出ました。また、安全な水辺体験をするために紙芝居を使った学習も行いました。

（8／19・28 大堰川カヌー教室）

「仲間の声援受け笑顔一杯ナイスイン」

晴れ渡る青空の下、日吉総合運動広場で市身体障害者福祉会スポーツ大会が行われ、およそ60人の参加者が汗を流しました。午前には体育館において卓球バレーとフライングディスク、午後はグラウンドゴルフと輪投げを楽しみました。美山支部から参加された看谷久雄、かめ子夫妻はチームメイトと漫才をしているかのような楽しい話をしながらラウンドし、「勝ち負けは関係なく、天気の良い中楽しくスポーツができてよかった。もっと参加者が増えてほしい」と話してくださいました。



▲グラウンドゴルフを楽しむ参加者

（10／7 第5回南丹市身体障害者福祉会スポーツ大会）